



↑仕事を分担して、段取りよく植え付け作業をこなす児童たち

ポテトチップが食べたい

獅子島小がバレイショ作付け

獅子島小学校は1月26日、本町の特産であるバレイショの作付け体験を実施しました。

同日は、御所ノ浦の岡平武志さんとJAかごしまいずみ農協職員の協力を得て、3年生以上の14人が、学校の敷地内にある畑にバレイショを手作業で植え付けました。

児童たちは、堆肥や肥料をまいた土を耕して畝をつくり、土に丸太をさして穴をあけ、種芋を一つひとつ埋め込んでいました。作業が終わったころには、靴や手は泥まみれでした。収穫は5月上旬ごろを予定しています。

4年生の湯元大晴君は「大きくなったらポテトチップにして食べたい。はじめてだったので楽しかった」と話していました。

↓グループごとにさまざまなトレーニングを楽しむ生徒たち



リーダーのあり方・役割を学ぶ

出水地区社会教育有志指導者初級研修会

1月25日、平成20年度出水地区社会教育有志指導者（青年団体指導者・少年団体ジュニア・リーダー）初級研修会が出水市青年の家で開催され、町内の中学生14人が参加しました。

この研修は、団体行動のあり方やリーダーの役割など、少年団体における理論・方法・実技を習得させ、少年団体の指導者としての資質向上を図ることを目的としています。研修には、各学校の生徒会や地域などで活躍する生徒たちが参加。危険予知やグループワークトレーニングなどでリーダーのあり方を学び、他市町の生徒たちとの交流を図りました。

強い精神力と団結力を培う

城川内でちょうちん行列

城川内子ども会育成会は、忠臣蔵などで有名な赤穂浪士四十七士が吉良邸に討ち入りをした旧暦の12月14日に当たる1月9日、「ちょうちん行列」を行いました。

これは厳寒に耐え、目標を達成する強い精神力と団結力を培うこと、伝統を守り続けることを現代の子どもたちに感じてもらうと開かれているもの。当日は小雨が降る中、子どもたちと父母らがちょうちんやたいまつを手に、太鼓の音を響かせながら伊勢神社や古射場、長光寺などを巡りました。



↑ちょうちんを灯し、集落を巡る子どもたち